

格安スマホ・機能・機種と選び方

今年の重大ニュースにも「格安スマホ」が登場しそうです。

シニア向けに格安スマホの解説と、自分に合ったスマホの選び方を考えてみましょう。

1. 格安スマホとは

携帯電話3社（Docomo・Au・Softbank）のスマホ料金は毎月7千円程度となっていますが、これらの会社から回線を借り、月額料金を端末代込みで3,000円程度に抑える仕組みが「格安スマホ」です。端末代3万円程度を一括で支払ってしまえば、月々1500円程の基本料金で格安スマホが使えます。

2. あなたの携帯電話通信料金は

人によって通話量が異なりますが、あなたの毎月の通話料はどのくらいですか、年間でどれくらいですか。

3. 格安スマホで実現できること AndroidOS の例

- 音声検索 優れています
- メールの受発信 携帯でもパソコンと同期し受発信できます
- スケジュール Google カレンダーの同期が出来ます
- カメラ 800万画素や1300万画素の高精細画像が撮影できます
- その他 いろいろアプリを使えます

4. 大きく分けて通話機能の仕組みが2種類あります

- 普通の携帯電話音声（通常20円/30秒などとお高いです）
SMS（ショートメール）が使えます
MNP（番号そのまま）が使えます（引越料がかかります）
- IP電話 050から始まるIP電話（インターネット回線を使うので安い）
<http://050plus.com/pc/charge/?wapr=54843145> でお得度が試算できます

5. 格安スマホの例

- イオンスマホ（イオンモールなど） 月々機種代込み 2980円（税別以下同じ）
 - うれスマ（Biglobe） 月々機種代込み 2880円
 - OCN 050Plusの例（ダイエー内ショップなど） 機種代別月々 1200円
- 詳しい内容は別資料でご説明します。

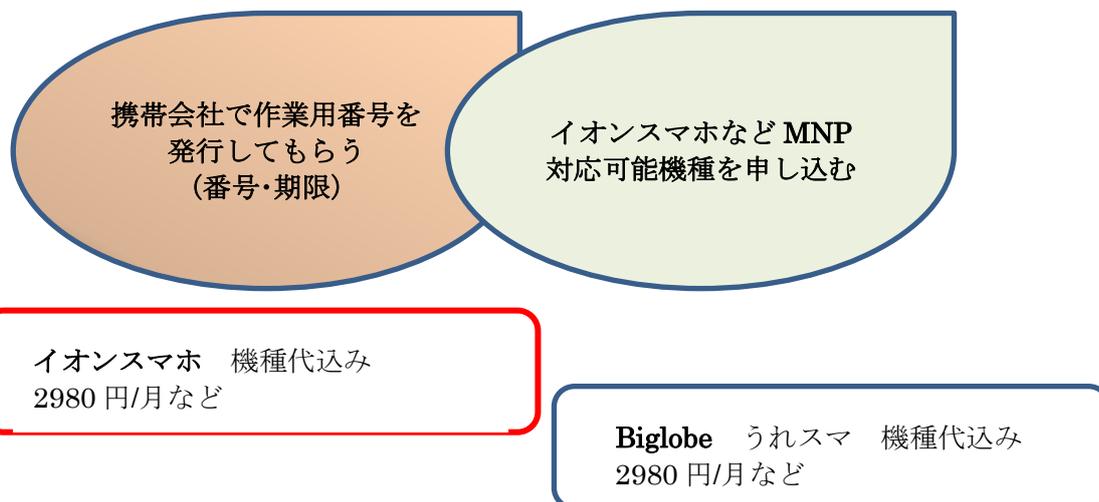
どう選ぶ格安スマホ

IT 技術の進歩で、格安スマホでもストレスなく便利に使えるようになりました。

沢山の種類がありますが、イオンスマホと OCN 音声 Sim 搭載スマホの比較をしてみました。

1. 今の携帯番号を変えずに使いたい

(MNP mobile number portability 機種により可能です) (要手数料 2000 円など)



2. 通話料金を安く使いたい

(IP 電話 Internet Protocol インターネット電話)

自宅では WiFi 使用 都市部では LTE (高速通信) 使用 地方では Docomo 使用
メリット 通話料金が安い

<p>約</p> <p>1,159 円/月</p> <p>おトク!</p> <p>050 plus のお支払い 841 円 (税込、月額基本料324円含む)</p>	<p>月通話料 2,000 円 携帯 21.6 円/30 秒 一回当たり 2 分 固定電話への割合 50%の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 固定電話への通話料 8 円/3 分 ● 携帯電話への通話料 16 円/1 分
---	---

デメリット MNP は不可 0120 や緊急電話にかけられない 通話品質は向上中

OCN 音声 SIM など 機種代は一括払い 月々通信料 1200 円程度 (通話代別)

3. 使えるまでお店で操作指導をしてもらいたい

お近くに格安スマホの取扱店があれば、操作方法などを、やさしく教えてください

4. 各社共通 初期設定費用 3000 円がかかります

音声 Sim カード (顧客識別カード) の発行料金です